

CONTENTS

- ・NTJU—NTCJ No.1交渉
- ・第2回 職場統括委員会
- ・闘争日程

積極的な「人への投資」を求め要求書を提出

冒頭、山本執行委員長より小山社長へ今闘争の要求に関する申入書を提出した後、組合より要求内容についての説明を行い、会社からは、現時点での認識について表明されました。

1 NTJU — NTCJ No.1交渉 2月19日(水) 13時00分～

組合

より積極的な「人への投資」で
持続的・安定的な成長と分配の好循環を

【申入概要】



組合員の生活は、数年来の物価高騰に伴い、実質賃金は3年連続で前年比マイナスとなり、生活を大きく圧迫している。一昨年、昨年と2年連続で大幅な賃金水準の改善を実現したが、本年は賃金も物価も経済も安定的に上昇する経済社会の定着を図る重要な年であると考えている。積極果敢に挑戦し続けている従業員のためにも、より積極的な「人への投資」を起点とし、モチベーションの維持・向上、産業・企業の魅力向上により、生産性を引き上げ、成長と分配の好循環を持続的、安定的に回していく必要がある。

【組合代表あいさつ】

春闘の組合要求にあたり、会社側よりNTCJを取り巻く環境、事業トピックス、次年度の事業の考え方などを説明共有していただいた。変化の激しい世界情勢や厳しい市況のなかでも事業の成長を続けるためには、シェアを伸ばすためのたゆまぬ投資が必要であるという会社の考えは共感できる所であり、併せて賃上げを基軸とする人への投資が定着する社会づくりをめざすことで、会社も人も「共に」成長することが実現できると考える。今期の組合活動スローガンは、「共に」想い、「共に」自己研鑽をする、という意味を込めて、共想・共鑽としている。「共に」というチームワークを大切にす風土を守りながら、グローバルクロックに適応するギアチェンジをしていきたいと考えている。引き続き真摯な労使論議をお願いする。



会社

厳しい市況の中でも
次の成長につながるしかけを

日頃から経営活動への協力に心から感謝申し上げる。会社と個人の成長のために、システムの入替え、組織変更、各種ワーキンググループの立ち上げなど、立て続けに施策を打っている。これは、NTCJの事業が継続して発展していくためにグローバルクロックに対応しグローバルで戦うためには避けては通れないこと、やらなければ生き残れないことである。世の中の変化は速く、いっそうのマインドチェンジとギアチェンジをする取り組みが必要であると考えている。

会社、従業員共に相当変わってきたと実感しており、下期の運営方針に関するアンケートの結果でも概ね良好で、会社が変わってきたとの評価をいただいたが、モチベーションが若干下がっていた。これは、運営方針で、上期収支実績が赤字ということに言及したことが影響していると分析している。今期の経営状況をそのまま伝えるか迷ったが、従業員は正しく状況を理解し、奮起してくれることを期待し、NTCJの従業員なら大丈夫だと思い最終的には包み隠さず発信する判断に至った。

会社は常に最適な方針を考え、行動し赤字幅を減らすように取り組んでいるが、今年度は非常に厳しい経営状況である。来年度も半導体市況は厳しい状況が続くと予想される。半導体業界はシリコンサイクルがあり、常に右肩上がりとは限らない。だから、市況が悪い時でも狙った市場で高いシェアを獲得することで、市況が良好化した時に反転攻勢に出られるようにしなければならない。そのために、もう一段ギアチェンジが必要であり、アウトプット最大化に向けて全ての業務の生産性向上と、必要な投資は効果を見極めながら実施し、経営体質を強化し、事業成長を図っていく。

会社側としても今春季交渉に真摯に対応していきたいと考える。組合のご理解とご協力をお願いする。



2 第2回 職場統括委員会 2月17日(金)17時30分～**2025年総合労働条件改善闘争議案 満場一致で可決**

2月17日のNTJ労組第2回職場統括委員会において2025年総合労働条件改善闘争議案について満場一致で可決確認されましたので報告します。

山本執行委員長挨拶（要旨）

本日の委員会は春闘関連、労働条件関連、組合規程関連など、多くの審議をしていただく。また職場世話役体制の充実を狙い、期中ではあるが、宇佐美さん、波多野さん、廣瀬さんに新たな役割として役員に就任していただく。共に活動を進めるメンバーとして承認をお願いする。

NTJ労組の春闘要求内容や2025年度のカレンダー設定については、私たちの働く環境を、自分たちで決めて、自分たちで動く、労働組合の職場自治の観点での議案提起である。

また、新入組合員の共済一律加入制度の新規導入については、労働組合の助け合いの精神に基づく、利他共助共済制度の充実をめざすものである。

社会情勢認識について1点の情報共有と1点のお願いをする。上部団体である電機連合半導体ディスプレイ部会に出席し、日本で操業中の半導体メーカー、材料素材メーカーの労働組合と意見交換をした。半導体産業の状況は2025年度も厳しいものがあり、業界各社の業績見通しからは厳しい労使交渉が想定される。そのようななかでの電機

連合統一闘争での賃上げ額17,000円という高水準での要求の意義は、物価高騰の折、労働者の生活不安を解消する観点に重きを置き、人への投資が定着する社会づくりをめざすものであるという認識で一致した。

さらに、半導体や電子デバイスの新規開発投資や製造設備投資には巨額の資金が必要であり、欧米や中国のように、産業発展を国の政策として、資金面、税金面、インフラ面、法律面などで、民間企業をもサポートする力がグローバル競争には必要という認識にたち、経済産業省の半導体デジタル産業政策というスキームなどにも働く者の立場で積極的に意見提起をしていく。具体的には電機連合から再び参議院議員を輩出する動きをとる。1つの企業の労使関係で経営に関与をするだけでなく、国全体レベルでも産業全体の経営にも関与していく。7月の参議院議員選挙の公認候補として、平戸航太さんを推薦決定したい。是非これから職場の組合員に対して、平戸航太という名前と、何のために議員を擁立するのかという政策を伝えていきたいので、職場統括委員の皆さんのご協力もよろしくお願いする。

3 闘争日程

- | | |
|----------|--------------------|
| 2月19日(水) | No.1 交渉（要求提出） |
| 25日(火) | 選挙管理委員会（スト権移譲投票開始） |
| 3月 5日(水) | No.1 縮小交渉 |
| 10日(月) | No.2 縮小交渉 |
| 13日(木) | No.3 縮小交渉 |
| 17日(月) | No.4 縮小交渉 |
| 18日(火) | No.5 縮小交渉 |
| 19日(水) | No.2 交渉（回答指定日） |
| 4月18日(金) | 第3回職場統括委員会（闘争集約） |

**全員の意思結集をスト権移譲投票に示そう！**

2025年総合労働条件改善闘争要求を決定し、各職場においてスト権移譲投票（電子投票）が実施されています。スト権移譲投票は、NTJ労組へ無期限のスト権を委譲するものです。スト権移譲を高率で確立することが、私たちの要求に対する期待と決意の高さを示すことになります。

交渉は、平和交渉・平和解決を基本に最大限の努力を行います。交渉の展開・状況によっては、いかなる事態にも対応ができる万全の体制固めが必要です。